

2017年5月19日

啓文堂書店「当日受取りサービス」



## 京王線の駅コインロッカーで 書籍が受け取れます！

5月23日（火）からサービス開始

京王グループの京王書籍販売株式会社（本社：東京都多摩市、社長：小幡 道宏）では、啓文堂（けいぶんどう）書店のホームページから注文した書籍を、当日中に店頭または京王線の駅コインロッカーで受け取れる「当日受取りサービス」を5月23日（火）から開始します。

これは、啓文堂書店ホームページで購入希望商品を検索し、13時までに注文すると、当日18時以降に在庫のある啓文堂書店の店舗や駅に設置する一部のICカード対応のコインロッカーで受け取ることができるサービスです。なお、1冊からの注文でも、ロッカーの使用料や配送料などはかかりません。

注文時にクレジットカードで支払うため、待ち時間なく商品を受け取ることができるほか、ロッカーでの受け取りを希望される場合は、店舗の営業時間外や店舗がない一部の駅でも利用できるため、帰宅途中などに気軽に受け取ることができます。

詳細は下記のとおりです。



《啓文堂書店（府中店）と府中駅のコインロッカー》

## 「当日受取りサービス」の概要について

### 1. ロッカー受取りサービスについて

- (1) **開始日** 5月23日(火) 予定
- (2) **利用駅** 新宿駅・明大前駅※・仙川駅※・調布駅・府中駅・聖蹟桜ヶ丘駅・高尾駅・京王多摩センター駅※・橋本駅・渋谷駅・吉祥寺駅  
※明大前駅、仙川駅、京王多摩センター駅は改札内にロッカーがあるため、別途入場券が必要となります。
- (3) **受取時間** 18時～翌日10時(当日24時～始発までを除く)  
※13時までの注文で、当日18時以降に受け取れます。  
(13時以降の注文は、翌日18時以降の受け取りとなります。)
- (4) **利用料金** 無料(商品代金のみ) ※ロッカー使用料・配送料はかかりません。
- (5) **利用手順**

#### ①購入手続き

啓文堂書店HPの、「本の検索」で購入希望商品を検索し、「当日受取りサービス」と希望する駅を選択します。連絡先の入力・クレジットカードでの支払いを指定すると、注文が完了します。

啓文堂書店HP：[www.keibundo.co.jp/](http://www.keibundo.co.jp/)

#### ②メールの受信

コインロッカーへのお届け完了後に、注文したお客様のメールアドレスへコインロッカーを開けるためのパスワードが届きます。

#### ③受け取り

希望された駅に設置されたコインロッカーの操作画面に、メールで案内されたパスワードを入力すると、コインロッカーの扉が開錠され、商品を受け取ることができます。

### 2. 店舗受取りサービスについて

- (1) **開始日** 5月23日(火) 予定
- (2) **対象店舗** 啓文堂書店全店
- (3) **受取時間** 18時～各店舗の閉店時間まで  
※13時までのご注文で、当日18時以降に受け取れます。
- (4) **利用料金** 無料(商品代金のみ)
- (5) **利用手順**

啓文堂書店HPの「本の検索」で購入希望商品を検索し、「当日受取りサービス」と希望する店舗を選択します。連絡先の入力・クレジットカードでの支払いを指定すると、注文が完了します。指定した店舗のレジにて注文番号(完了通知メール)を提示すると、商品を受け取ることができます。

### 3. お客様のお問い合わせ先

京王書籍販売株式会社 TEL. 042-337-4811 (平日9:30～17:00)  
以上

## 【参 考】

### 1. 京王書籍販売株式会社について

会 社 名 京王書籍販売株式会社

代 表 者 小幡 道宏

所 在 地 〒206-0033

東京都多摩市落合1-4-3 京王プラザホテル多摩 西館2階

店 舗 名 啓文堂書店

事業内容 書籍・雑誌・文具等の販売業

店 舗 数 京王沿線23店、京王沿線外7店

### 2. 駅コインロッカーについて

設置会社 京王地下駐車場株式会社

代 表 者 反町 哲也

所 在 地 〒151-0072

東京都渋谷区幡ヶ谷1-2-2 京王幡ヶ谷ビル

事業内容 駐車場業、不動産賃貸業、コインロッカー業

### 3. 駅コインロッカーのサービス概要について

駅に既設しているICカード対応のコインロッカーをより有効活用するため、2016年2月～9月まで、京王地下駐車場と株式会社アルファロッカーシステムとシステム開発会社の3社共同で、一部の通販会社・宅配事業者と協業し、荷物の受け渡しサービスに係る実証実験を行ってきました。

これらをふまえ、新たなコインロッカーのサービスとして、日中は現行通りの一時預かりサービスとして、稼働が落ち着く夜間時間帯は商品の受け取りサービスとして、さらなる有効活用の拡大を図っていきます。